

目標達成計画

作成日: 平成 22年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2(2)	事業所と地域との付き合い 地域の方がグループホームへ気軽に寄って 頂けるような関係作りが必要	公民館などに行って交流を持つことにより、 知人や同級生に会うことが出来る。犬の散歩 の途中で寄って頂けるような関係作り	民生委員さんとの協力体制作り(5月20日見学 会実施予定)民生委員さんが、ボランティアにて ホームにも来ていただけるようなイベントや環 境作り(夏祭り、お祭りなどへの参加を呼びか ける)	6ヶ月
2	4(3)	運営理念に基づき運営 運営推進会議を活かした取り組み 定期開催を実現し、ご家族、地域、行政など との連携を取っていくことが必要	2ヶ月に一回の定期開催 内容の充実 参加者の増加	年間計画表の作成 実施内容の計画(イベントとの共催) 実施曜日、時間帯の検討(日中、夜間)	3ヶ月
3	6(5)	身体拘束をしないケアの実践 スピーチロック 職員同士で注意し合える環境作りが必要	身体拘束の理解 接遇の教育、実践	職員会議にて、身体拘束の勉強会を実施(4月 13日実施) 接遇についても、禁止用語を職員全員で出し合 い、意識付けを行った。ホーム内に掲示し、意 識統一を行った。	3ヶ月
4	10 (7)	運営に関する職員意見の反映 職員会議以外の場で、もっと砕けた話が出来る 場を作った方が良いのでは	ホームの外でのコミュニケーションを取る場 を作る 忘年会、ケーキを食べながらのお茶会など	忘年会の実施 少人数での食事会を計画する(ユニット単位、 男性職員同士、女性職員同士など)	6ヶ月
5	40 (15)	その人らしい暮らしを続ける為の日々の支援 食事を楽しむことの出来る支援 厨房があることについて、グループホームの 理念からいうと、少し違和感を感じる。介護ス タッフがもっと調理関係に関わった方が良いの では。	入居者様の調理への関わりを増やしていく 介護職員も調理への関りをもつ	現在週一回カレーの日を設定しているが、メ ニューの幅を持たせ、入居者様に行っていた くことを増やしていく。(シチュー、ハヤシライス、 肉じゃがなど)	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。